

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月16日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機非常用ディーゼル発電機(A)燃料移送ポンプのミニフローラインオリフィスの取付方向相違について】 他電力にて発生した非常用ディーゼル発電機潤滑油系オリフィスの取付方向相違の水平展開として、当社の非常用ディーゼル発電機の潤滑油系等について取付状態の調査をした。 その結果、5号機非常用ディーゼル発電機(A)燃料移送ポンプのミニフローラインオリフィスにて取付方向相違を確認。 5号機非常用ディーゼル発電機(A)燃料移送ポンプは前回点検時(2019年2月)、電動機ベース不具合により現在まで隔離されており、機能要求なし。 前回点検前までは、定例試験結果等により異常は確認されていない。 当該オリフィスを正常の向きに復旧済み。</p>	GⅢ	6月12日